

然るに日本西部産米労働加盟の一部は若々の不在に乘じてインテ
キ委員會を即催して中津一般労働組合の全許加盟取消を決議した
昭和九年十一月全國評議會大會に代表を送り日本西部産米労働組
合結成に當つても全國的戦線統一綱に參加す可く全國評議會加盟
を決議して居つたにも係らず之を否定する事は正に階級的裏切
行爲であつて彼等は如何にあたりへ辭をひくうして加盟を願出る
底意を有するものと認定せざるを得ない！

若々は日本西部産米労働組合新成後日向淺きに鑑み此の決行に當
り慎重審議の結果別くの如き状態に立至つた事を遺憾とするもの
であるか、幸にして日本労働組合全國評議會加盟の戦線中津大分
大平山下歸の五團體に依つて全許九州地方評議會結成の機運を得
た事を歓迎とするものである

右聲明す

一九三五年九月二十七日

宣

言

日本労働組合 九州地方評議會
全國評議會

我が日本労働組合全國評議會加盟九州地方各團體は全國プロレタ
リアート戰中九州地方の總ての被壓迫労働大衆の燃へる如き支持
と擁護の中に資本家地主と彼等の盟友フアンスト、社督フアン
ストの中傷防害を顧つて茲に蓋々九州地方の戦闘的労働者大衆の
戦闘部隊たる全許九州地方評議會は確立したり。

全國の戦闘的階級的労働者諸君！

九州地方の總ての被壓迫労働大衆諸君！

資本家地主的支配階級は自己の支配の強化擴充のために幾多の矛
盾を孕みつつもプロレタリア労働大衆の犠牲の上に經濟的にはイ
ンフレーション政策を、政治的にはフアンズムを、労働民衆に對